

強度行動障害支援者 学習・交流会報告書

【開催日時】

令和 3 年 7 月 1 日（木）13：00～15：00

【開催方法】

- ・ Zoom を使用したリモート開催

【運営協力】

- ・ 講師：スクラム福井
- ・ 事例発表：足羽更生園
- ・ 司会：居宅生活支援部会部会長
- ・ ファシリテーター：相談支援事業所あゆみ
YOLO・FUKUI
相談支援事業所 G.S.I.
- ・ リモート協力：BUMPS
- ・ 事務局：福井市障がい福祉課
福井市地区障がい相談支援事業所なんとう

【参加者】

- ・ 24 名（サービス事業所：12 名相談員：12 名）

【アンケート結果】

- ・ 返答 20 名
- ・ 基礎講座について、学ぶ機会半数、振り返りになったが半数と意見あり。
- ・ 事例報告について、約 7 割の参加者が参考になり支援に活かせそうなことがあったと返答あり。
- ・ 約 8 割の方が期待していたと返答あり。

【自由記載について】

- ・ 事例報告から支援方法のヒントがある。今後も開催してほしい。
- ・ 関係機関から意見や支援方法を聞く機会はとても参考になった。
- ・ グループワークの中で、支援が上手くいっていると報告があり、詳細を聴きたい。
- ・ 学べる時間と意見交換できる時間がもう少し長くとれると良かった。

【その他】

- ・個別調整会議の開催について、希望を募ったがアンケートでの希望はなかった。
- ・リモート開催において、大きなトラブルはなかった。(1 事業所、通信環境の問題で参加が十分にできなかった。1 事業所、通信が切れてしまったがすぐに入室できた。)

【グループワークでの意見】

- ・基礎的な研修について、時間の都合で話せなかった部分をもっと聞きたかった。
- ・事例は具体的な支援方法の提示があって良かった。
- ・支援方法の幅が広げられるように、他の事例と支援方法を聞きたい。
- ・リモートではできないが、過去に実際に行う支援を実演してみた研修があった。現在は実施している研修がないが、実技は支援方法獲得に繋がると思う。
- ・強度行動障害のアセスメントをとれる支援者を養成する必要があるのではないか。
- ・家族が疲弊している。家族同士で相談できる場があると良い。
- ・サービス事業所と相談員が感じている課題が違う。

【今後の展望】

- ・サービスの質の向上、事例報告による支援方法の発見、支援について相談ができる横の繋がりが強化など、様々な価値を見出せる可能性があるため、継続した開催が望まれる。
- ・サービスに繋がらない、サービスに繋がっていても支援に困難さがある方の安定した生活に向けて、個別調整会議の開催と学習・交流会とがリンクしていくことが望まれる。
- ・強度行動障害がある方の支援力向上についての機会の提供を、居宅生活支援部会から然るべき機関へ繋げることについて検討する必要がある。